

# つな が り



独立行政法人国立病院機構  
**東近江総合医療センター**

〒527-8505 滋賀県東近江市五智町255番地  
TEL 0748-22-3030 FAX 0748-23-3383  
ホームページ <http://www.shiga-hosp.jp>

地域連携ニュース T・S・U・N・A・G・A・R・I 2017.06



■ 新任医師の紹介

Vol.  
26

## 診療部門のご紹介



外科医長  
赤堀 浩也

4月から赴任しました赤堀浩也と申します。専門は膵疾患です。膵臓がん（臓器別死亡数第4位）の治療成績向上には、診療所と病院、内科・放射線科・外科の連携による早期診断と集学的治療が不可欠です。

私事ですが、谷眞至 滋賀医大外科学講座教授から手術指導を頂き、この春肝胆膵外科高度技能専門医を取得しました（県内の専門医は2名）。

今後は肝胆膵疾患に対して、安全かつ確実な“手術”を含めた集学的治療を当センターにて提供できるよう、微力ながら尽くしていく所存です。ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



耳鼻咽喉科医長  
星 参

H12年に滋賀医科大学を卒業後、大学や関連病院での勤務を経て、H29年4月より東近江総合医療センターの耳鼻咽喉科に赴任しました星 参です。以前には同じ湖東診療圏である日野記念病院にも勤務していました。前任地の長浜赤十字病院では、甲状腺・唾液腺・口腔癌などの頭頸部腫瘍を、慢性副鼻腔炎や鼻内腫瘍に対しては鼻内視鏡手術を主に担当していました。それ以外の耳鼻科関連の手術も手掛けていました。

当院の耳鼻咽喉科は長らく常勤医が不在でしたので、外来や入院の体制でまだ不備な点があり、ご迷惑をおかけすることになると思いますが、少しずつ体制を整えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。



放射線科医師  
井上 明星

平素より画像検査をご依頼下さりありがとうございます。所見の羅列にならないよう、可能な限り病態や診断名を記載し、追加検査や治療の必要性についてコメントし、臨床的に価値のある画像診断報告書の作成を心がけています。画像診断を通じて地域医療に貢献できれば幸いです。





整形外科医師  
本原 功二郎

広島大学卒、大津日赤で研修後、滋賀医大、公立甲賀病院と勤務し、4月から当院でお世話になります。昨年、整形外科専門医を取得しましたがまだまだ修行の途上です。よろしくお願ひします。出身は大津の旧市街ですが、十月には大津祭という曳山祭があります。13基の曳山が巡行し、私は「孔明祈水山」の囃子方として参加しています。祭の魅力は、からくり人形や厄除け粽投げ等いくつもあります。どうぞ観に来てください。



小児科医師  
星野 絵美

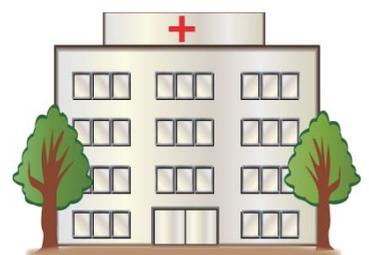
平成29年4月より東近江総合医療センター小児科に赴任して参りました。医師7年目の星野絵美と申します。滋賀医科大学卒業後、大学附属病院で初期研修をおこない、母校の小児科に入局しました。その後は同院で後期研修医として1年半、長浜赤十字病院で2年半勤務しておりました。これから皆さまにお世話になりますことや、ご紹介していただいたりする機会も増えることと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。



呼吸器外科医師  
苗村 祐樹

卒後5年目、呼吸器外科医の苗村祐樹と申します。昨年度まで滋賀医科大学付属病院で勤務しておりましたが、この4月より新しく当院で勤務させて頂くことになりました。

勤務形態やカルテなどから学ばなければならぬ現状ではありますが、一日も早く、患者様をはじめスタッフの方々のお役に立てますよう精進して参りますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。





歯科口腔外科医師  
弘部 悠

平素より御世話になり誠に有難う御座います。歯科口腔外科の弘部悠と申します。まだまだ至らぬ点が多く御迷惑をおかけするかとは思いますが、皆様、患者様に勉強させて頂いていると考え精進して参りますので、何卒宜しくお願い致します。当科の外来診療は常勤医が2人という体制をとらせて頂いており、丁寧な診療を心掛けております。また、CT、MRI、血液検査等の各種検査が行える環境ですので、日常診療でお困りの際はご相談頂けますと幸いに存じます。



消化器内科医師  
茶谷 元晴

医師 4 年目の茶谷元晴と申します。消化器内科医員として東近江総合医療センターに赴任致しました。専門は消化器病ですが、感染症診療も専門に行います。東近江市地域の皆様に少しでも貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。困った症例があれば御相談下さい。



編集後記

予定より遅れての発行となり、申し訳ございません。今年度も新たな先生が赴任され、研修医を含めると、いつの間にか医師数は 50 人を超える大所帯となりました。9 年前に私が着任した時の倍以上の数です。次号から、この地域の先生方にも原稿をお願いして、双方向性の紙面にして参りたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

(広報委員会委員長 前田 憲吾)